

新型コロナウイルスと人権 差別・偏見のない社会を目指して

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染者らを社会的に排除しようとする状況が発生しています。このような差別・偏見は、感染者やその家族等の人格や尊厳を侵し、また、生活に重大な悪影響を与えるものであり、決して容認し得ないものです。

差別・偏見のない社会を構築するために何が必要か、皆様とともに考えたいと思います。



2月15日(月)
午後1時～午後5時
Zoomウェビナーを利用した
オンライン開催

以下のURLまたは二次元バーコードからお申し込みください。締切:2月10日(水)

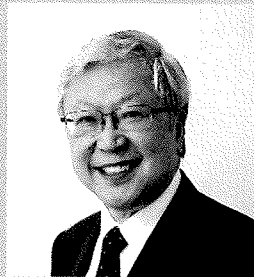
※参加方法は、開催日が近付きましたら、お申込みされた方にメールでご案内いたします。
※申込状況によっては、締切前に募集を終了する場合があります。

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/jinkensympo/20210215/>

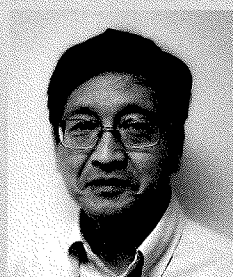


第1部
日弁連からの報告

第2部 パネルディスカッション「新型コロナウイルスと差別・偏見」



坂元茂樹氏
同志社大学教授
(国際法)



押谷仁氏
東北大学大学院教授
(感染症疫学/ウイルス学)



三浦麻子氏
大阪大学大学院教授
(社会心理学)

御提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理いたします。また、この個人情報に基づき、日本弁護士連合会又は日本弁護士連合会が委託した第三者から、シンポジウム等のイベントの開催案内、書籍の御案内その他当連合会が有益であると判断する情報を御案内させていただくことがあります。